

谷口台小学校学区連携園連絡会

～遊びと思考力の芽生えについての事例を伝え合う～

谷口台小学校は、生活科・総合的な学習の時間の相模原市教育委員会研究推進事業委託校です。9月25日（月）に、研究発表会が行われ、1年生の生活科の授業公開、協議会に、連携園の先生方も参加しました。一緒に授業を見て語り、互いを尊重し合いながら共に考え合えることが架け橋期に求められることだと感じました。

その後の指導講評では、文部科学省 教育課程調査官 齋藤 博伸先生から、生活科は幼児教育と小学校教育をつなぐ要であること、子どもの具体的な姿を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに幼保小の先生方が話し合うことが大切だというお話がありました。



【連携園連絡会の様子】～架け橋期の教育・保育を語り共有～



年に3回行われている連携園連絡会。6月に行われた幼保小連携研修で作成された「幼保小の架け橋カリキュラム作成シート」が共有されました。

前日に行われた研究発表会の授業についての感想を伝え合った後、事前に打ち合わせをして持ち寄った「各園で行っている遊びと思考力の芽生えにつながっている場面」について画面に写真を映しながら共有しました。

1年生の先生から谷口台小学校の生活科の授業において大切にしていることや単元の流れについて語られた後、各園からも「遊びと思考力の芽生え」について、保育事例や子どもの姿をもとに語られました。

具体的な子どもの姿から、学校や園で行われている遊びや学びのプロセスを深めるための教職員の関わり、環境の構成についての工夫について互いに知ることができました。共通して大切にしていることは、「自分たちの考えを試せる環境」「時間と材料の確保」「失敗した経験を活かす」ことと確認。

最後に子ども同士の交流の見通しや公開保育の日程についても確認しました。

次回は、11月に連絡会が行われます。



1年生の指導においては、幼児期の教育保育や経験のつながりを考えることも大切です。
指導案に幼児期の経験を記載するのもよいですね。



「幼保小の架け橋カリキュラム作成シート」

カリキュラムの作成や協議に、ぜひ今後もご活用ください。幼保小連携研修の資料で配布している他、各学校の共有キャビネットにも格納しています。